

クラブ活動を通じた異学年の交流

取組の背景・目的

【かみきただい児童館卓球クラブ】

児童館を利用する児童が、日頃の児童館での遊びとは異なる活動として、異学年の児童と一緒に継続的に活動することで、技術の向上だけではなく、コミュニケーション能力の向上やスポーツにおけるマナーの習得を図っています。また、卓球クラブの活動を通して卓球の楽しさや、みんなで同じことに取り組むことの面白さを味わえるよう努めています。

これらを通して、児童館が地域の児童の居場所として確立されるよう取り組んでいます。



取組の概要

東大和市内の児童館では、小学生等を対象としてクラブ活動を実施しています。そのうち、かみきただい児童館では、卓球クラブが活動しています。卓球クラブは設立から6年の活動実績があるクラブで、児童館内プレイルームにおいて年9回程度、14時～15時に、小学生1年生～6年生（10～20人程度）を対象に活動を実施しています。（小学校の長期休暇期間は除く。）

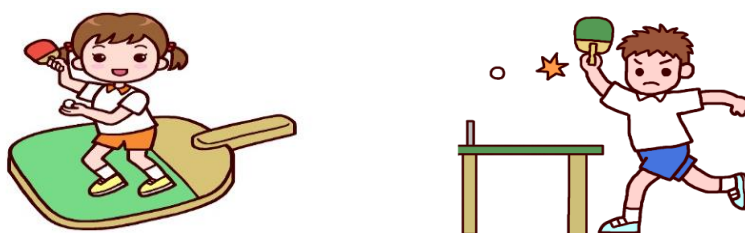
講師として、東大和市卓球連盟の方を招き、指導をしていただいています。講師は、地域の卓球普及に貢献されている方で、ボランティアで行っていただいています。卓球を通じ、異学年同士が一体となって練習することで、達成感やスポーツの楽しさを味わえるよう、指導に努めています。講師との日程調整や参加者募集、参加者への諸連絡等を児童館職員が担い、活動は講師を中心に進めています。



工夫点・留意点

児童館だよりや市報などを用いて活動の周知に努めています。本活動は地域の子どもたちには知られた存在であり、年々申込み人数が増え、人気の高いクラブとなっています。

クラブ員の中には、「卓球を上手になりたい。」「卓球に興味がある。」「スポーツは苦手だけど卓球ならやってみよう。」など、クラブ員によって参加理由は様々です。基本的には、皆で同じことに取り組む練習をしていますが、個人のレベルに合わせた指導や異学年同士の交流（下級生に対して上級生が指導する、卓球台を上級者と初心者の2台に分けて練習を行う等。）の工夫を行っています。



取組の効果

子ども同士と一緒に活動を重ねることで、学ぶ楽しさを知り、目標に向けて進んでいくことの面白さや達成感を味わうことに繋がります。また、努力することやコミュニケーションの大切さを学び、子どもたちが自信を深めていけるよう取り組んでいます。

異学年の友達を作る機会となることで、交流の幅が増え視野の広い子どもになることが期待でき、さらに体を動かすことによって心身の成長を促進する効果が見込まれます。

また、当卓球クラブで練習した成果を市内の大会に参加して試す子どもや、小学校を卒業した後も中学校の卓球部に加入し、引き続き卓球に励んで努力している子どももおり、スポーツの楽しさを知るきっかけづくりにも貢献させていただいています。

課題・今後の展開

コロナ禍において、前々年、前年は参加数が減り、緊急事態宣言の発令期間中は当クラブ活動を中止することがありました。プレイルームが広くないことから、今後も引き続き十分な感染対策（密を避ける、消毒・換気の徹底等。）を行ったうえで、指導を継続していきます。

また、館内が広くないことから、卓球クラブの活動時間と一般来館の利用者が多い時間帯が重なると、一般利用者の遊びの内容に制限がかかってしまう場合がありますが、職員が子どもへの配慮をしつつ活動を見守っています。

卓球クラブに参加したことで、卓球技術の向上だけでなく、スポーツに関心を持つきっかけづくりや仲間との一体感を感じることができる活動として、今後も地域の子どもたちが楽しみながら集えるよう、努めていきたいと考えています。